

公立高校入試情報 栃木県

【国語】

令和6年度栃木県入試の全体傾向

大問1 漢字
大問2 論説文 原瑠璃彦『日本庭園をめぐる』
大問2 論説文 『作庭記』第二十二項』
大問3 小説 真紀涼介『勿忘草をさがして』
大問4 古文・話し合い 『玉勝間』
大問5 話し合い・言語事項・俳句・作文 皆川盤水『鮭のぼる川しろじろと明けにけり』
例年同様の大問5題の構成であるが、大問1は漢字10問のみ、大問5に国語の知識と課題作文の出題となった。課題作文の配点が減り、古文の配点が増えるなど、全体のバランスに変化があった。

■詩歌の問題の対策

年によって問題数の増減はあるが、俳句の基礎知識を問う問題が二年連続で出た。難易度は高くなく基本的な内容なので、主な表現技法や季語の知識をしっかり理解し、確実におさえておきたい。

■文章記述問題の対策

本年度も記述問題が出題され、説明文で45字、小説で40字・65字、古文で20字以内と字数が多いことから、時間配分に気をつけて解く必要がある。段落ごとの要点や、人物の心情を確実にとらえてまとめる練習をしておきたい。

		単元名／項目	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
出題内容別の傾向	漢語・字句	漢字を学ぼう	●	●	●	●
		熟語を学ぼう	●	●	●	●
		語句を学ぼう			●	●
	現代文	文脈で語句の意味を考えよう	●	●	●	
		展開をとらえよう	●	●	●	
		心情をとらえよう	●	●	●	●
		行動の理由・人物像をとらえよう	●	●	●	●
		文章中の表現を味わおう	●			
		話題・情報をとらえよう		●	●	●
		指示語・接続語をとらえよう	●	●	●	●
		文章を解釈しよう	●	●		●
		理由をとらえよう				
		段落構成をとらえよう		●	●	
		要旨をとらえよう	●	●	●	●
	古典	古文のかなづかい・古語を学ぼう	●	●	●	●
		古文の会話・主語をとらえよう				
		古文の展開をとらえよう	●	●	●	●
		漢文・漢詩を味わおう	●			
	詩歌	詩・短歌を味わおう	●			
		和歌・俳句を味わおう		●	●	●
	文法	文の組み立てを知ろう		●		
		自立語を学ぼう	●		●	●
		付属語を学ぼう		●		
	表現・情報	敬語を使いこなそう	●	●	●	
		グラフ・図表を読み取ろう				●
		話し合いをとらえよう				●
		伝え方の工夫を学ぼう				
		課題作文を書こう	●	●	●	●
		★聞き取り問題				
別出の題傾向向式		大問数	5	5	5	5
		小問数	33	33	33	33
		記号解答	16	14	15	14
		記述式解答(漢字の読み書きも含む)	17	19	18	19